

《なんで文法を学ぶの?》

次の傍線部を訳してみよう

①花ぞ、咲かぬ。

花が、【 】。

②花、咲きぬ。

花が、【 】。

③雨降らば、我行かじ。

雨が【 】、私は行かないつもりだ。

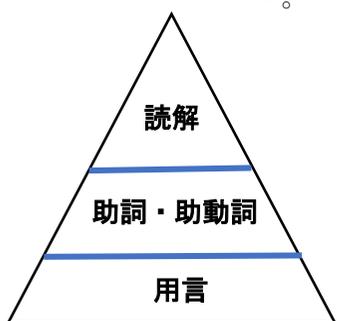
④雨降れば、我行かず。

雨が【 】、私は行かない。

「ぬ」「ば」の直前の【 】が違うだけで、意味が変わる。

自分で【 】を見分ける力が必要。

← 文法力を身につけることが大切



《用言って聞いたことあるけど、何ぞれ?》

単語は、全部で10個の品詞に分けられます。

(動詞、形容詞、形容動詞、名詞、副詞、連体詞、接続詞、感動詞、助詞、助動詞)

この中うち、自立語で【 】するものを用言と言ひ、10個の品詞のうち、【 】【 】【 】の3品詞のことです。

☆まとめ

用言|| 【 】【 】【 】【 】【 】【 】【 】【 】【 】【 】

《用言はわかった。で、活用って何?》

やってみよう

- ・書く + ず(ない) ↓書【 】 【ず(ない)
- ・書く + たり(ます) ↓書【 】 【たり(ます)
- ・書く + ども(ば) ↓書【 】 【ども(ば)

☆まとめ

活用とは、【 】

## 《活用形と活用の種類》

・活用形

未然形・連用形・終止形・連体形・【】・命令形の6つ。

・活用の種類

用言（動詞・形容詞・形容動詞）には、それぞれ活用の種類がある。

◎動詞の活用の種類（9種類）

四段活用・上二段活用・下二段活用：数が多い

上一段活用・下一段活用

カ行変格活用・サ行変格活用

ナ行変格活用・ラ行変格活用

数が少ないので【】する

※動詞は基本の形（終止形）が「u段音」になりますが、

ラ行変格活用だけ【】になるので注意しましょう。

◎形容詞の活用の種類（2種類）

【】活用・【】活用

※形容詞は基本の形（終止形）が「し（じ）」になります。

◎形容動詞の活用の種類（2種類）

【】活用・【】活用

※基本の形（終止形）が「なり」なら【】活用、

「たり」なら【】活用になります。

## 《動詞の活用の種類》

① 四段活用

下につく語	書く	書	基本形	語幹
	むず	か	未然形	
てたり	き	連用形		
	く	終止形		
こととき	く	連体形		
どもど	け	已然形		
	け	命令形		

「a/i/u/e/e」と活用する

やってみよう

次の傍線部の基本形と活用形を答えよう。

・花咲けども散らず。

基本形：

活用形：

慣れるまでは、自分で【】（右側の表）を作って考えよう！

※注意すべき「四段動詞」

【】↓四段・上二・下二を見分けるとき注意

（後述）

② 上二段活用

起く	基本形
起	語幹
き	未然形
き	連用形
く	終止形
くる	連体形
くれ	已然形
きよ	命令形

「i/i/u/ur/ure/ie」と活用する。

やってみよう

次の傍線部の基本形を答えよう。

- ・ある日山を過ぐるに

基本形：

( ) 内の動詞を正しく活用させよう。

- ・(恨む)ずやうき世を花のいとひつつ

答え：

※注意すべき「上二段動詞」

「老ゆ」「悔ゆ」「報ゆ」はヤ行の動詞

「閉づ」「恥づ」はダ行の動詞↓「閉じず」「恥じず」は×、

正しくは「閉ぢず」「恥ぢず」

③ 下二段活用

上ぐ	基本形
上	語幹
げ	未然形
げ	連用形
ぐ	終止形
ぐる	連体形
ぐれ	已然形
げよ	命令形

「e/e/u/ur/ure/e」と活用する。

やってみよう

次の傍線部の基本形を答えよう。

- ・北上川、南部より流るる大河なり

基本形：

・「かかることは文にも見えず、伝へたる教へもなし」

基本形：

※注意すべき「下二段動詞」

「得」↓数ある動詞の中で【 】の動詞はこれだけ

「得」「寝」「経」は語幹と活用語尾の区別がない。

「覚ゆ」「見ゆ」↓ヤ行

「植う」「飢う」「据う」↓ワ行

例…「植う」「飢う」「据う」の未然形は？

↓植【 】ず 飢【 】ず 据【 】ず

《四段・上三・下二段動詞の見分け方》

←

【 】をつけて判断しよう！

① 行く ↓ 【 】

② 飽く ↓ 【 】

● 【 】 + ず ↓ 【 】

③ 起く ↓ 【 】

④ 恨む ↓ 【 】

● 【 】 + ず ↓ 【 】

⑤ 受く ↓ 【 】

⑥ 与ふ ↓ 【 】

● 【 】 + ず ↓ 【 】

★ここから先の動詞は、それぞれ少ないので暗記してしまおう！

上一段活用 …… 10語

下一段活用 …… 1語

カ行変格活用 …… 1語

サ行変格活用 …… 2語

ナ行変格活用 …… 2語

ラ行変格活用 …… 4語

④ 上一段活用

見る	基本形
(見)	語幹
み	未然形
み	連用形
みる	終止形
みる	連体形
みれ	已然形
みよ	命令形

「i/i/ir/ir/iれ/iよ」と活用する。

●「着る・見る・似る・煮る・射る・鑄る・居る・率る・干る・乾る」

の10語だけ。

注意！

射る・鑄る ↓ 【 】 (ひらがなだと)

居る・率る ↓ 【 】 (ひらがなだと)

暗記！

きみにいゐひ (君に良い日)

⑤ 下一段活用

蹴る	基本形
(蹴)	語幹
け	未然形
け	連用形
ける	終止形
ける	連体形
けれ	已然形
けよ	命令形

●【一】だけ

⑥ 力行変格活用

来	基本形
(来)	語幹
こ	未然形
き	連用形
く	終止形
くる	連体形
くれ	已然形
こよ こ	命令形

●【一】だけ

●漢字表記の際は注意が必要

例：三年（みとせ）来ざりければ、

※未然形・連用形・終止形・命令形は漢字表記の場合一文字ですが、それぞれ読み方が違います。という事は、【一】がわからな  
いと読むことができません。

⑦ サ行変格活用

す	基本形
(す)	語幹
せ	未然形
し	連用形
す	終止形
する	連体形
すれ	已然形
せよ	命令形

●【一】の2語だけ

●サ変動詞は、様々な語と結びついて複合動詞を作る。

旅す・死す・ものす・ご覧す（名詞＋す）

空しうす・重んず（形容詞＋す）

明らかにす（形容動詞＋す）

☆「しず」となっても「サ変」です。「サ変」は存在しません。

⑧ ナ行変格活用

死ぬ	基本形
死	語幹
な	未然形
に	連用形
ぬ	終止形
ぬる	連体形
ぬれ	已然形
ね	命令形

●【一】の2語だけ

⑨ ラ行変格活用

あり	基本形	あ	語幹	ら	未然形	り	連用形	り	終止形	る	連体形	れ	已然形	れ	命令形
----	-----	---	----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----

- 基本形は【 】で終わる
- 【 】の四語だけ

《動詞の練習問題》

やってみよう

次の傍線部の動詞の基本形と活用の種類を答えよう。

- ・ 絶えて久しくなりぬ。
- ・ この人を具して往にけり。

基本形：  
種類：  
基本形：  
種類：

- ・ ひがごとどもにこそは侍らめ。
- ・ 八木のやすのりといふ人あり。

基本形：  
種類：  
基本形：  
種類：

- ・ 門戸を閉ぢて開かず。
- ・ 久しう里に居たり。

基本形：  
種類：  
基本形：  
種類：

《形容詞の活用》

- 基本形が「…し」となる。

- 活用の種類は、ク活用とシク活用の2種類

なし	基本形	な	語幹	から	未然形	く	連用形	し	終止形	き	連体形	けれ	已然形	かれ	命令形
美し	基本形	美	語幹	しから	未然形	しく	連用形	し	終止形	しき	連体形	しけれ	已然形	しかれ	命令形

- ク活用とシク活用の見分け方

↓基本形に【 】をつける。

くくなる ↓ク活用

しくなる ↓シク活用

やってみよう

めでたし ↓

すさまじ ↓

- 「じく／じく／じ・・・」と活用してもシク活用です。

ジク活用は存在しません。

種類：

## 《形容動詞の活用》

● 基本形が「…なり」「…たり」となる。

● 活用の種類は、ナリ活用とタリ活用の2種類

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
静か なり	静か	なら	なり に	なり	なる	なれ	なれ
堂々 たり	堂々	たら	たり と	たり	たる	たれ	たれ

## 《問題を解く手順の解説》

◎ 傍線部の用言を文法的に説明せよ

文法的にとは、活用の種類・基本形・活用形を説明することが一般的です。

① 基本形を考えよう

動詞 ↓ 「u段音」(ラ変以外)

形容詞 ↓ 「…し(じ)」

形容動詞 ↓ 「…なり…たり」

② 活用の種類を考えよう

☆動詞の場合

四段・上二・下二は「ず」を付けて判断、それ以外は暗記

☆形容詞の場合

「…なる」を付けて判断し、ク活用かシク活用かを見分ける

やってみよう

次の傍線部の形容詞・形容動詞の基本形・活用の種類・活用形を答えよう。

・①うつくしきこと②かぎりなし。

① 基本形… 種類… 活用形…

② 基本形… 種類… 活用形…

・わざとならぬにほひ、③しめやかにうちかをりて、

③ 基本形… 種類… 活用形…

☆形容動詞の場合

「…なり」ならナリ活用

「…たり」ならタリ活用

③ 活用形を考えよう

・レベル1

【 】を作り、表を見て判断

・レベル2 (下に来る語で判断)

例：下に用言が来ていれば【 】

下に体言(名詞)が来ていれば【 】…など

・レベル3 (助詞・助動詞で判断)

助詞・助動詞の接続で判断する

※今回の講習ではレベル1とレベル2を組み合わせて考えよう！

例：この子をア見れば、イ苦しきこともウやみぬ。

ア 見れ

① 基本形…

② 種類…

③ 活用形…

イ 苦しき

① 基本形…

② 種類…

③ 活用形…

ウ やみ

① 基本形…

② 種類…

③ 活用形…

《練習問題》

★用言について、以下の問いに答えよ。

中納言①参り給ひて、御扇奉らせ②給ふに、「隆家こそ【いみじ】骨は③得て侍り。それを張らせて参らせむと④するに、おぼろけの紙はえ張るまじければ、求め⑤侍るなり。」と申し給ふ。「いかやうにかある。」と問ひ聞こえさせ給へば、「すべていみじう侍り。』さらにはまだ見ぬ骨のさまなり。』となむ人々⑥申す。まことにかばかりのは⑦見えざりつ。」と、言高く⑧のたまへば、「さては、扇のにはあらで、海月のななり。」と⑨聞こゆれば、「これは隆家が言に⑩してむ。」とて、笑ひ給ふ。

問一 傍線部①～⑩の動詞を文法的に(基本形・活用の種類・活用形)説明せよ。また、③「得」は基本形の読みをひらがなで書け。

問二 本文中【いみじ】を、正しい形に改めよ。